

一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
令和5年度事業報告

1. 人材育成事業

① DCA 教育実施機関における科目認定による資格付与の承認（継続事業）

期初から期末までの資格申請数は、103名であった。この大半は科目認定プログラム実施校からの申請者であった。

② DCA 教育実施校への支援（継続事業）

DCA 教育実施校への支援としては、以下の通り。

- (1) 令和元年度以降、千葉商科大学では DCA3 級取得者を対象に DCA2 級課外講座を実施してきているが、本年度も同大学の夏季休暇中に実施した（10月2日・5日）。課外講座の講師は、例年通り、千葉商科大学教員と DCA1 級資格を取得済みの DCA 委員とが協働して務めた。
- (2) 東北福祉大学の DCA2 級科目認定プログラムについては、下半期に専用の授業が開講された。この授業に対して、I-ROI 事務局より実習授業用の教材と、修了試験用の試験問題を提供した。

③ DCA2 級修了試験の新規作問（継続事業）

千葉商科大学および東北福祉大学で実施している、科目認定プログラム向けの 2 級試験問題は、2023 年度実施分については、7 月の DCA 委員会までに本試験用と再試験用の 2 セットの作成を完了した。

④ DCA2 級・3 級資格の取得方法の拡充（継続事業）

一般の社会人を念頭に、筆記試験を受験することで DCA2 級資格及び DCA3 級資格を取得できる方法（以下、「一般試験」）を整備することについては、昨年度に着手された試験問題の策定作業を継続して実施した。

社会人のニーズを考慮して、DCA3 級よりも DCA2 級の枠組みを優先して整備してきた。

⑤ DCA 資格の認定状況

DCA 資格認定者数は、次の表の通りである。

資格認定者数

総数 1,650 名（1 級 10 名、2 級 83 名、3 級 1,557 名）

DCA1 級資格取得者数(3月31日)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
科目認定実施校の教員	-	-	-	-	-	-	-	4	0	0	4
その他	-	-	-	-	-	-	-	6	0	0	6
合計	-	-	-	-	-	-	-	10	0	0	10

DCA2 級資格取得者数(3月31日)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
千葉商科大学	-	-	-	-	-	1	5	2	5	1	14
東北福祉大学	-	0	0	0	12	13	22	9	9	4	69
合計	-	0	0	0	12	14	27	11	14	5	83

DCA3 級資格取得者数(3月31日)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
青山学院大学	17	17	5	0	0	-	-	-	-	-	39
江戸川大学	-	-	-	-	-	-	41	43	26	13	123
埼玉工業大学	0	0	83	0	1	0	-	-	-	-	84
千葉商科大学	30	34	21	37	23	14	41	78	58	41	377
東京工科大学	34	25	27	40	26	19	11	11	5	6	204
東北福祉大学	0	50	39	79	61	94	134	81	32	31	601
日本工学院八王子専門学校	-	-	-	-	14	35	0	0	9	0	58
eラーニング	-	-	-	-	19	15	16	11	1	7	69
会員企業	-	-	-	2	0	0	0	0	0	0	2
合計	81	126	175	158	144	177	243	224	131	98	1,557

⑥ DCA コンピテンシーの改訂

DCA 委員会は9月20日にコロナ禍以降で初めて対面で開催され、これを機に、かねてより課題として挙げられていた「DCA コンピテンシー改訂」の作業について結論を出すこととした。そして、11月から1月にかけて3回のDCA委員会を開催し、コンピテンシー改訂の成案を得た。

端的には、ICTの「リスク」と「活用」という2つの側面のうち、旧コンピテンシーはどちらかと言えば「リスク」に関連するものを多く含んでいたが、新コンピテンシーでは、「活用」に重点を置くように改めた。テーマとしては、「AI」「データサイエンス」「ファクトチェック」といった、近年になって社会的関心を集めるようになったコンピテンシーを追加することとした。

なお、コンピテンシー改訂に伴い、DCA資格制度のあり方についてDCA委員会において議論を行った結果、以下の諸点が提起された。

- ・資格申請手続きを簡略化させ、認定校側と当機構側の事務作業の負担を低減させる
- ・公的機関が刊行する情報リテラシー教材をDCA資格認定プログラムの教材として活用することで、教材開発のための労力・時間・費用を圧縮する
- ・文部科学省による「数理・データサイエンス・AIモデルカリキュラム」を実践している高等教育機関が、DCA資格科目認定プログラムを円滑に導入できるようにする
- ・コロナ禍以前は「DCA資格を取得して就職活動に備えよう」という形で広報宣伝活動を展開してきたが、今後は「社会人に必要な情報活用能力の証明としてDCA資格を取得しよう」、「DCA資格の取得を契機にして、情報系の職種への就職や情報系資格の取得へとステップアップしていこう」という形での広報宣伝を展開していくこととする
- ・広報宣伝の主たるターゲットとして、私立大学の文系・情報系学部を想定する
詳細は、別紙資料(資料3-1)を参照。

2. 普及啓発活動

① 開発済みの子どもゆめ基金教材

- ・独立行政法人青少年教育振興機構 子どもゆめ基金による教材開発の助成金は、開発後

3 年間は開発団体が積極的に普及活動を展開することとなっている。

- ・過去、当機構が開発した子どもゆめ基金教材は、以下の通り。期初の時点で4 教材の3 教材については、子どもゆめ基金から義務付けられている普及活動期間は終了しているが、いずれの教材も引き続き I-ROI ウェブサイト (<https://i-roi.jp/seisyonen-kyozai>) で公開を継続した。

R2 異世界で学ぶ はじめての情報セキュリティ

R1 これで安心！ フリマアプリやネットオークションとの付き合い方

H29 どうぶつの町でトラブルがおきた！

～スマホやゲームの使い方、キミならどうする？～

H26/27 ネット社会を生きる力 インターネットを使いこなす 6 つのひけつ

- ・令和 2 年度教材「異世界で学ぶ はじめての情報セキュリティ」については、教材開発の際の協力者である齋藤博美氏が 8 月 1 日に同教材を用いた小学生向けワークショップを山形県遊佐町で実施し、11 月 12 日に開催された仙台市 PTA フェスタでは同教材を実演するブースを安心ネットづくり促進協議会と共に出展した。

② 子どもゆめ基金教材への応募

- ・令和 3 年度に引き続き、令和 2 年度に開発した情報セキュリティ学習用の教材を用いた学習会を企画し子どもゆめ基金体験活動の助成金を申請したが、残念ながら不採択となった。
- ・令和 6 年度子どもゆめ基金教材開発・普及活動については、11 月に申請を行った。9 月理事会で議論された、「たとえ採択の可能性が低くなったとしても、開発や普及活動に要する費用や労力が抑えられるような内容の提案をする」という方針に基づき、教材の対象年齢は大学生を含むことで、DCA 資格プログラムとオーバーラップさせることとした。提案したデジタル教材のタイトルは「スマートなデジタル社会人になろう！ 「ファクト」と「フェイク」、どう見分けてどう対処する？」で、3 月末に満額での採択との通知があった。申請金額は 937 万円。

③ 各種啓蒙活動への参加

- ・各教育機関や各省庁・各団体など、I-ROI の関連団体との提携を緊密にはかり、効果的な普及啓蒙活動が展開できるよう検討を進めている。
- ・「高校生 ICT カンファレンス」については、ここ数年は規模を縮小して開催されており、同イベントの冒頭で実施される「事業者講演」への当機構からの講師派遣は行われていなかった。これについて、8 月 19 日の長崎県開催分、9 月 2 日の福岡県開催分に講師派遣の要請があり、久保谷事務局長を講師として派遣した。福岡県開催分では主催者側からの「AI をテーマとした講演をお願いしたい」という依頼により、「AI であなたの人生は豊かになるのか」という題目の講演を行った。なお、コロナ前は講師が現地に出向いていたが、コロナ後は講師がオンラインで講演することが可能となっており、本年度の長崎・福岡両県の講師派遣についてはオンラインでの派遣とし、現地への旅費交通費は生じさせない形で対応した。
- ・11 月 12 日に開催された「仙台市 PTA フェスタ」では、安心ネットづくり促進協議会と共にブースを出展し、過去に子どもゆめ基金の助成を受けて開発した青少年向けデジタル教材の実演・紹介を行った。

3. 新規事業の検討

「GIGA スクール構想」の進展という社会状況の変化を捉え、当機構として、各種教材等を

含めたデジタル・コンテンツの健全性を確保するための取り組みの検討を令和4年度に開始し、令和5年度は、関係各所との連絡をより緊密にして情報収集を強化し、状況をよく見極めた上で新規事業の具体的な検討をすることとしてきた。

12月に開催された理事会において当機構の存続に関する議論が提起されたことにより、本事業の検討作業を当面見合わせることにした。

4. 令和5年度決算

別紙資料(資料3-2)を参照。

以上